

かからない
あたりにまた二、三千と級の
うちに三、
四属とぎに
は七、八尾
泡を立ててゴツリ群を導
がかかつて
ち去つてしまふ。『弱肉強食』
引きあげら
に泣かされる零細漁民一熊本の

夕方の五時ごろ、
 釣るが、とくに夕
 日が沈もうとす
 るころが一番よ
 い。海からの寒流が太平洋からの暖
 れ一晚に多いときは二万尾を釣
 っている。水温が一七度以下に
 なる。海面に浮いてくるのが日本
 ずす。油端「ニュー」と水を吹つか
 ける。まるで消防の一斉放水み
 漁民もその例外ではない。

ところが一番よ 海からの寒流が太平洋からの暖ける。まるで消防の一斉放水み

になったが、これ トックして現地

の問題ではない。
も値段がどうな

漁の追い打ちで魚で出荷できずに

錢から四五十錢をもち直しで

にカタ落ちしているが、と天道船

は「どう安くては」も思案投資のテ

結局スルメにするの太田則俊さん

末に「い」と

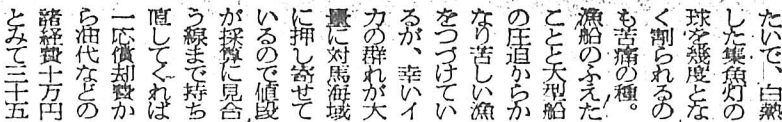
一人の加工費は漁たか、一貫

分々にできて、
に傾斜がよく
て、採算も十分と

つぱいにサバ
こましている。

（加工費二枚二円五）
つけるためエン

イカの暴落に思案顔
大型船からも押されて



く釣れる。船が流におし勝つと陸地に近づいて万円の収入は容易にあげられよ

リをつけたツナで、サンマが随によせる場合は、でも三千万円の船が出て

れに擬餌を十数個〇……ところが光の下で釣るのでばかりはいえないが——写真

ゆるめる。一分とはすぐにマークされる。北海道 岳町大造船園